

利用者クライアントソフト（Mac 版）の注意事項について

利用者クライアントソフト（Mac 版）について、動作検証の結果、設定に関する注意事項が判明しておりますので、以下に示します。

記

（1）Safari12 で Java アプレットが動作しない問題

【発生事象】

Safari12 で java アプレットが動作しない。

【回避策】

Safari12 では、AdobeFlashPlayer を除く NPAPS プラグインの実行をサポートしなくなりました。

Safari11 では、java アプレットは動作しますが、java アプレット自体、2019 年 3 月にサポート終了となる予定です。

（2）JRE のダウンロードの問題

【発生事象】

OS X 10.7 以降は、デフォルトで JRE がインストールされていないため、利用者クライアントソフトのインストールが中断される。

【回避策】

JRE がインストールされていない環境の場合は、下記の手順で、最新の利用者クライアントソフトをご利用ください。

- ① 動作検証を行ったバージョンの JRE を Web サイトからダウンロードおよびインストールを実施する。

<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/>

- ② 利用者クライアントソフトを下記の公的個人認証サービスポータルサイトからダウンロードおよびインストールを実施する。

<http://www.jpki.go.jp/download/mac.html>

（3）「Smart Card Services」をインストール済みの環境において、マイナンバーカードを使用した際に、キーチェーンパスワード入力ダイアグラムが表示される問題

【発生事象】

「SmartCardServices」をインストール済みの環境において、マイナンバーカードを使用した際に、キーチェーンパスワード入力ダイアグラムが表示される。

【回避策】

既に「Smart Card Services」をインストール済みの環境において、マイナンバーカードを使用した際に、下記のメッセージがでる場合があります。

その際は、一度カードを抜いてから「キャンセル」ボタンを押下し、「Smart Card

Services」をアンインストールしてください。

(※住民基本台帳カードを使用する場合は、「Smart Card Services」を必要とします。)



図 1. キーチェーンのパスワード入力ダイアログ

既に「Smart Card Services」をインストール済みの環境において、マイナンバーカードを使用する場合は、「Smart Card Services」をアンインストールする必要があります。

JPKI.tokenendの削除方法は以下のとおりです。

- ①画面上部のメニューの「移動」をクリックして、「ユーティリティ」をクリックする。ユーティリティフォルダが表示されるのでその中の「ターミナル」をクリックする。(または、Finderを起動して、「アプリケーション」⇒「ユーティリティ」⇒「ターミナル」をクリックする。)
- ②【OS X 10.10 以前の場合】
ターミナルが起動するので
「`sudo rm -R /System/Library/Security/tokenend/JPKI.tokenend`」を入力し、Enterキーで実行する。
【OS X 10.11 以降の場合】
ターミナルが起動するので
「`sudo rm -R /Library/Security/tokenend/JPKI.tokenend`」を入力し、Enterキーで実行する。
- ③「Password:」と表示されるので、PCの管理者パスワードを入力してEnterキーを押下
- ④次にキャッシュ削除のため、
「`sudo rm -rf /var/db/TokenCache/tokens/`」を入力し、Enterキーで実行する。
- ⑤「Password:」と表示されるので、PCの管理者パスワードを入力し、Enterキーを押下

上記手順で JPKI.tokenend とキャッシュ情報を削除することが可能です。

「Smart Card Services (JPKI.tokenend)」をアンインストール方法のページ:

[http:// www.jpki.go.jp/faq/clientsoft.html](http://www.jpki.go.jp/faq/clientsoft.html)

(4) プロキシ認証が必要な環境の場合、接続サーバと通信ができない問題

【発生事象】

JRE8.0 Update111 で変更になった、HTTPS トンネリングの Basic 認証の無効化により、プロキシ認証が必要な環境の場合に接続先サーバと通信ができなくなる。

【回避策】

- 利用者クライアントソフトの場合

Java 起動コマンドのオプションにシステムプロパティの値を設定することで、回避することができます。

(java 起動時に、Java コマンドのオプション「-D」で、jdk.http.auth.tunneling.disabledSchemes システムプロパティを「」（空）に設定する。)

下記のコマンドを使用します。

```
/Library/Internet\△ Plug-Ins/JavaAppletPlugin.plugin/Contents/Home/bin/java△  
-Djdk.http.auth.tunneling.disabledSchemes=""△-jar△[jar ファイル名 ※1]
```

(凡例) △ : 半角空白、 \ : 半角バックスラッシュ

各機能に対応した jar ファイル名を表 1.jar ファイル名一覧に示します。

表 1. Jar ファイル名一覧

#	機能	Jar ファイル名 ※1
1	JPKI 利用者クライアントソフトの有効性確認機能、 官職証明書検証機能	/Applications/Utilities/JPKI.localized/JPKIUtility.app/Contents/Java/JPKIUtility.jar
2	JPKI 利用者クライアントソフトの オンライン失効申請機能	/Applications/Utilities/JPKI.localized/JPKIUtility.app/Contents/Resources/JPKIRevoke.app/Contents/Java/JPKIRevoke.jar
3	JPKI 利用者クライアントソフトの 自動更新機能	/Applications/Utilities/JPKI.localized/JPKIUtility.app/Contents/Resources/JPKISoftwarechk.app/Contents/Java/JPKISoftwarechk.jar

- 上位アプリケーションから呼び出す場合

上位アプリケーションから呼び出す場合の対策は下記の通りです。

表 2.上位アプリケーションから呼び出す場合の回避方法

#	機能	回避方法
1	Java アプリケーションの有効性確認機能、 官職証明書検証機能	Java 起動コマンドのオプションにシステムプロパティの値を設定する。(利用者クライアントの場合と同様)
2	C 言語インターフェースの有効性確認機能、 官職証明書検証機能	なし。

(5)ダウンロードした利用者クライアントソフトインストーラ及びアンインストーラが実行できない問題

【発生事象】

OS X 10.8.5、OS X 10.9.5 及び OS X 10.10.4 において、ダウンロードした利用者クライアントソフトのインストーラ及びアンインストーラをクリックで実行した場合、図 2 の警告ダイアログが表示され、実行できない。



図 2. ダウンロードした利用者クライアントソフト実行時の警告ダイアログ

【回避策】

OS X 10.7.5 及び 10.8 より追加された Gatekeeper の機能により、署名が付与されていないアプリケーションの実行がブロックされます。

利用者クライアントソフト Ver3.0 (Mac 版) 以降では発生しません。

利用者クライアントソフト Ver2.6.1 (Mac 版) をご利用の場合は、下記の手順で回避できます。

利用者クライアントソフトインストーラ及びアンインストーラを右クリック

または「control」キーを押下した状態でクリックし、表示されたメニューから「開く」を選択します（図3）。図4の警告ダイアログの「開く」ボタンを押下することにより、インストール及びアンインストールを実行することができます。



図3. 右クリックまたは「control」キー押下状態で表示されるメニュー



図4. 「開く」ボタンのある警告ダイアログ

(6) 住民基本台帳カードを利用するための機能のサポートに関する問題

【発生事象】

OS X 10.7以降は、仕様変更により住民基本台帳カードを利用するための機能 (Smart Card Services) が Apple 社からサポートされなくなった。

マイナンバーカードをご利用の場合は「Smart Card Services」は不要です。

【回避策】

下記のページより Mac OS Forge(*1)が提供する Smart Card Services のインストーラをダウンロードし、インストールすることにより、利用者クライアントソフト (Mac 版) が動作します。

Mac OS Forge の Smart Card Services Installers のページ :

<http://smartcardservices.macosforge.org/trac/wiki/installers>

*1) Mac OS Forge とは

Apple 社が自身のオープンソースプロジェクトをホストするために立ち上げたウェブサイト。(Wikipedia より)

Apple 社が Smart Card Services を廃止し、Mac OS Forge がそれを引き継ぐかたちとなっています。

また、Macintosh 上の動作や操作についてのご質問に対して、OS X 本体については Apple 社に、Smart Card Services については、Mac OS Forge に直接お問い合わせいただくようお願いします。

以上